

事務局対応案

1. 素案修正
2. 素案どおり
3. その他

部会意見

1. 事務局案を採用する
2. 事務局案を修正する
3. その他

項目	委員発言内容	事務局対応案	修正案等	ページ	部会意見
潮流	1 政令市として日本における位置づけと拠点性について明確にすべき。	1	P5【新潟市を取り巻く時代の潮流】の中で、新潟の位置づけ等についての記述を追加する。 また、P7【潮流4「国際化と都市間競争の進行」】の中で、新潟の位置づけ等について記述している。	5	
	2 県のスタンスは別として、道州制なども見据え新潟市の背後地にあるエリアの中心としての位置づけを明らかにしておく必要があるのでは。	2	現時点ではエリアの位置づけを計画に盛り込むことは難しいが、周辺地域との交流等のデータは、施策別プランの中でお示しい。	6	
	3 県における市の役割を明確にすべき。	1	P6【潮流1「地方分権の一層の推進」】の中で、役割についての記述を追加する。	6	
	4 日本における日露貿易の発祥地と聞いておりこの部分を記載しては。	3	今後作成予定の沿革の中で、記載について検討する。 なお、関連してP5, P7, P17で国内外の交流実績について記述している。	-	
基本構想	5 「新しいタイプの大都市を築いていかなければなりません。」と締めくくっているが、策定の主旨という項目としてふさわしくないのでは。必要論ではないか。	2	後段「このような将来を展望しながら」に続ける表現として記載している。	11	
	6 理念のなかに、県都として、対岸諸国に対してなど、「貢献」の考え方を明確にしては。	2	P12後段「協働」「互恵」「交流」「安心」「教育」の5つの観点は、新潟に暮らして良かったと実感できる豊かな市民生活を実現するための基本的な考えであり、5つの都市像に結びつく表現となっている。「貢献」については、その都市像を進める中にあるものと整理している。 なお、P12【まちづくりの理念】中段、に貢献について記述している。	12	
	7 協働のところでボランティアの記載があるが、捉え方によっては行政が無償の奉仕を求めているととられかねない。今後のNPOの在り方もあり文章に説明がいるのでは。	1	ボランティアの表現を削除する	15	
	8 協働など一般市民には聞きなれない用語もあり補足しながらの丁寧な文章としてほしい。	1	P15上段の前文を修正し、説明を補足する。	15	
	9 区民、NPO等、行政の役割について、きちんと記載する必要がある。コミ協と区、そして区と市の関係性を示した図を検討してほしい。	1	わかりやすく修正する。	15	
	10 総合計画の中で「地域」をどう捉えているのか。区というまちづくりの部分を丁寧に記載しては。	1	地域を以下に定義する。 ○コミュニティ - 小・中学校区単位 ○地区(仮置) - 基本的に旧市町村・地区事務所単位 ○区 - 区単位 ○地域 - 上3つの総称 また、P15【自立した地域づくり】の中に、区のまちづくりの考え方について説明を加えた。	15	
	11 文中に行財政の効率化とあるが、分権の基礎としての効率化なのか疑問がある。	1	市民との信頼関係の視点と、持続可能な行政運営の視点で、行財政の効率化を記載している。 あわせて、表現もわかりやすくなるよう修正した。	15	
	12 P15分権の基礎づくりの中で、「開示」とあるが「提供」としたほうが一般的ではないか。	1	「提供」に修正する。	15	
	13 文中に、「男女共同参画社会の実現」を追記してほしい。	1	P15【協働のまちづくり】の中に、男女共同参画社会の実現についての記述を追加する。	15	
	14 「みなとまち」「湊町」の使い分け若しくは統一を。「武器に」を「基に」という表現にしては。	1	「みなとまち」は、ひらがなに統一する。 「武器」を、「戦略的に活用して」に修正する。	17	
	15 施策別プランには記載されているが、教育に関して、教員の質の向上について明記しては。	1	P20【人を育てる環境づくり】の中に、教師に関する記述を追加する。	20	

項目	委員発言内容	事務局 対応案	修正案等	ページ	部会 意見
基本計画 総論	16 策定した計画のチェック体制はどの様に考えているのか。	3	具体的な手法については、数値目標の設定や評価手法など現在検討を行っている。	-	
	17 総合計画の枠組み（図表）で、H26年度までの計画とした経緯、実施計画の年割など文章補足したほうが分かりやすい。	1	P23にわかりやすく記載する。	23	
	18 人口増について、県内人口の奪い合いになってはいけない。県外からの人口の呼び込みによる均衡ある発展を目指す必要がある。	2	人口増加については、県外への流出防止とUターンをしてもらうことで達成する考え方である。	-	
	19 農家レストランなど取り組みはあるが、現実的には法的に駄目な部分もある。農家は減反や後継者不足、耕作地の放棄など問題が多い、この辺の負の部分もきちんと文章に出しては。	2	施策別プラン、P71中程に後継者不足、P80中程に耕作地放棄など、負の部分表現している。	35	
	20 新・新潟市ということになると、「水の都」と呼ばれていると出てくると唐突な感じを受ける。	1	「水の都」の表現を削除する。	35	
	21 「その他の拠点」は「市全体の拠点」という表現にしてはどうか。また、鳥屋野潟南部に新市民病院ができるので、医療という言葉も加えては。	1	「その他の拠点」を「機能別拠点」に修正する。また、医療の追加については、今後検討する。	37	
その他	22 地域をつなぐ交通網の整備は重要であるが、同時に情報網の充実も地域間の格差をなくす取り組みとして必要。	1	P34情報網に関する記述を追加する。	34	
	23 財源の推計、商業などの情報を明らかにすべき。	3	財源推計については、データを整理しお示しする。商業などのデータについては、施策別プランで記載する予定。	-	